

32歳から80歳まで、全国から選ばれた44名が挑戦
ミスユニバースジャパン2026の日本代表が決定！
山形のフリーペーパーの会社で専務を務める
吉村裕子さん（56歳）がグランプリに。
～青木さやかさんも審査員としてファイナリストへエール～

国内最大級のミス・ミスター・ミセス世界大会の日本ライセンスを保有し、各種コンテストの運営やキャスティングを行うベリッシマジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：大島一恵）は、美しさだけでなく、社会貢献への想いや行動力を重視する世界的コンテスト『ミスユニバースジャパン2026』を、2026年7月28日（火）にホテル椿山荘東京にて開催いたしました。当日は、日頃から動物保護活動に取り組むタレントの青木さやかさんが審査員として参加。さまざまな人生経験や社会への想いを発表するファイナリストたちの挑戦を見守り、エールを送りました。全国から選出された44名のファイナリストが出演し、審査の結果、第1位に吉村裕子さん（56歳）、第2位に桜井和香さん（60歳）、第3位に大崎マナリさん（35歳）が選出され、世界大会へ挑戦する日本代表TOP3が決定しました。



（写真）左から3位大崎マナリさん、1位吉村裕子さん、2位桜井和香さん

■ **世界的ミスコンテスト「ミスユニバース」とは**

近年、多様性やSDGsを背景に、人の容姿に対する考え方に大きな変化が起きており、ミスコンの「ルッキズム」への批判が相次いでいます。ルッキズムとは、Looks（見た目、容姿）+ism（主義）を掛け合わせたことばで、「外見至上主義」と呼ばれており、外見的な美醜を重視して人を評価する考え方のことを指します。そのような中、女性の社会的地位の向上をテーマに掲げ行われているのが、約80カ国130名が参加する世界的ミスコンテスト「ミスユニバース」です。日本大会は、“容姿だけではない”新しい美の基準を追求するコンテストとして2020年よりスタートしました。「ミスユニバースジャパン」が考える「美しい人」とは、その人の存在で社会や周りに「与えられる人」。身長制限も年齢制限もありません。一人一人の社会貢献への想いや行動力を重視し、従来の外見至上主義から美の常識を塗り替えようと実施しているコンテストです。

2026年大会には、32歳から80歳までの44名のファイナリストが出演。日本大会でTOP3に選出された3名は、2026年10月にスリランカで開催予定の「Mrs. Universe」世界大会への進出権を獲得しました。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
ミスユニバースジャパン2026 PR事務局（株式会社CONNECTED MATERIAL内）
担当：杉山（080-3004-0454）/ sugiyama@connectedmaterial.jp

■約300名の応募者から、日本代表を選出

約300名の応募者から選ばれた44名のファイナリストは、専業主婦、外資系銀行員、農家、起業家、看護師、セラピスト、演奏家、管理栄養士、地方公務員、警備員など、多様な職業や人生経験を持つ女性たちです。2026年1月から約半年間にわたり、世界大会への出場を目指して活動してきました。活動期間中は、プロ講師によるウォーキングやスピーチ、メイク、プロトコールマナーなどのレッスンを受講したほか、社会貢献活動にも取り組み、その様子をSNSなどで発信してきました。

大会当日は、スピーチ、ウォーキング、ドレスなどの審査を実施。外見の美しさだけでなく、これまでの人生経験や社会貢献への姿勢、表現力、存在感なども総合的に審査し、審査員と来場者による投票を行いました。その結果、山形県で17万部を発行する地域メディア会社の専務を務める吉村裕子さん（56歳）が、グランプリに選出されました。



(写真) ミセスユニバースジャパン2026ファイナリスト

<TOP>

Mrs. Universe Japan 2026 (Winner／総合1位) : 吉村裕子さん (56歳)

Mrs. Universe Japan 2026 1st Runner-Up (総合2位) : 桜井和香さん (60歳)

Mrs. Universe Japan 2026 2nd Runner-Up (総合3位) : 大崎マナリさん (35歳)

<年代別入賞者>

30代 Sunflower Grand Prix : 青山麻美さん (38歳)

40代 Rose Grand Prix : 古瀬愛華さん (41歳)

50代 Dahlia Grand Prix : 西村かおりさん (54歳)、吉村純子さん (54歳)

60代 Magnolia Grand Prix : 榊原樹里さん (60歳)

70代以上 Casablanca Grand Prix : 濱崎君子さん (80歳)

受賞者一覧 : <https://www.mrsuniverse.jp/2026mrsresults>

■受賞者コメント

1 位 : 創業20年、17万部の地域メディアを育てた専務 吉村裕子さん(山形県・56歳)

このたびは、ミセスユニバースジャパン2026でグランプリという身に余る栄誉をいただき、心より御礼申し上げます。私は56歳で、「自分の殻を破りたい」という思いから挑戦しました。山形の方言で「生意気」「でしゃばり」を揶揄する「あがすけ」。年齢や周囲の目を気にして自分で限界をつくっていた私が、あえて「あがすけ」になろうと決意したのです。大会を通して、「何歳からでも人は変えられる」と、そして一人の挑戦が周囲に勇気を与えられることを実感しました。グランプリはゴールではなく、新たなスタートです。「あがすけ」とは、自分を信じて一歩踏み出す勇氣。年齢も性別も関係なく、夢は叶えられるというメッセージを、日本中、世界中の女性に伝えていきたいと思います。皆様への感謝を力に変え、世界大会でも全力で挑んでまいります。

(吉村裕子さんプロフィール : https://bellissima.style/muj2026tokyo_32/)



2位：娘の病気をきっかけに40歳で看護師へ。還暦で大会に挑んだ桜井和香さん(東京都・60歳)

還暦という節目に初めて挑戦したミセスユニバースコンテストで、総合2位・準グランプリという大変光栄な賞をいただきました。娘が脳に障害を負ったことをきっかけに、私は40代で看護師になりました。いつか、娘を含めた私の人生を自分の言葉で伝え、困難の中で心を閉ざしている方に寄り添い、「誰もが自分らしく、希望を胸に生きていい」と伝えられる人になりたいと思っています。その想いを日本大会のステージで届ける機会をいただけたことに、心から感謝しています。10月には、タイで開催されるMrs. Asia International世界大会へ、日本代表として挑戦します。「真に美しい人は、与えられる人。」この言葉を胸に、これからも人に寄り添い、誰かの希望になれる生き方をしていきたいと思っています。

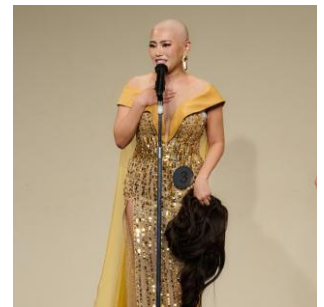
(桜井和香さんプロフィール：https://bellissima.style/muj2026tokyo_09/)



3位：乳がんステージIVでの挑戦した外資系銀行員 大崎マナリさん(東京都・35歳)

この度は、総合第3位、そしてBest Speech Award、アデランス賞という素晴らしい賞をいただき、本当に嬉しく思っています。2年前、33歳でステージ4の乳がんと診断された時、私はこれから先、自分がどんな人生を歩んでいくのかさえ分かりませんでした。ましてや治療を続けながらコンテストに挑戦し、日本代表として世界大会に立つなんて、当時の私には想像もできなかったことです。私は抗がん剤治療によって髪を失い、一度は「髪の毛を失ったら、女性としての自信も失ってしまうのではないか」と思っていました。でも実際に髪を失ってみて、自信や美しさは髪の毛そのものに宿っているのではなく、自分自身がどう生きるか、どう自分を好きでいられるかにあるのだと気づきました。今回いただいた3つの賞を励みに、これから「美しさとは何か」「女性が自分らしく輝くとはどういうことか」を、自分自身の経験を通して発信していきたいと思っています。私の経験が、誰かが新しい一歩を踏み出すきっかけになれば嬉しいです。

(大崎マナリさんプロフィール：https://bellissima.style/muj2026tokyo_22/)



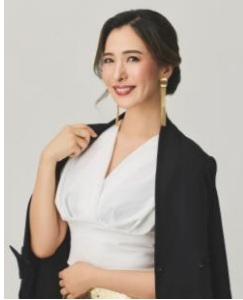
■ご協賛企業様



(左上より) 株式会社アデランス／株式会社RAIBY／渋谷crossFM／KoA／クロスサポート株式会社／社章製作ルイヤンスタイル／株式会社日本トリム／株式会社SEDY&Co／ランヌ／株式会社愛粧堂／株式会社パリミキ／株式会社ランクアップ／モッズヘア(株式会社エム・エイ・グループ)／株式会社ラシュレ／株式会社バルニバービ／株式会社クー・ジョリ／株式会社グラツィア／株式会社プロラボホールディングス／ドレスワールド／THE CLINIC／株式会社ディヴァイン／花キューピット株式会社／株式会社LUFTホールディングス／ZENKO(タマリス)／株式会社サロン・ド・リジュ／Spyra Beauty／株式会社MIREI／ハートフルシッターズ

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
ミセスユニバースジャパン2026 PR事務局 (株式会社CONNECTED MATERIAL内)
担当: 杉山 (080-3004-0454) / sugiyama@connectedmaterial.jp

■ミセスユニバースジャパン代表 大島一恵より



2026年大会を終えて、最も印象に残っているのは、ファイナリストの皆さんが大会を通して大きく変わった姿です。

今年は、それぞれが異なる個性や魅力を持ちながらも、自分自身と向き合い、自分の気がついた自分の使命を社会に発信していこうとする姿勢が印象的でした。大会期間中の努力や経験が、ファイナリスト一人ひとりにとって、これからの人生につながるものになっていれば、主催者としてこれほど嬉しいことはありません。

そして、今回のTOP3の皆さんには、それぞれにとっても強い「想い」がありました。

グランプリの吉村裕子さんは、山形県で「目立つ人」「出る杭」という意味で使われることのある「あがすけ」という言葉を、ネガティブなものではなく、ポジティブで誇り高い言葉に変えていきたいという想いを発信してくれました。準グランプリの桜井和香さんは、障害のあるお子さんを育てる親として、ご自身の経験を通して、自分から社会に発信していきたいという強い想いを持って活動されています。そして3位を受賞された大崎マナリさんは、30代で乳がんのステージ4と診断された経験から、自分だからこそ伝えられることを発信していきたいと話してくださいました。

お三方に共通しているのは、自分自身が経験したことを、自分だけのものにするのではなく、社会に伝え、誰かのために生かしていきたいという想いです。私は、これこそがミセスユニバースの大きな魅力の一つだと思っています。

このミセスユニバースでの経験は、日本大会で終わるものではありません。今回は順位に関係なく、本当に一人ひとりがそれぞれのストーリーを持った素晴らしいファイナリストでした。だからこそ、この大会で得た経験や出会いをこれからの人生に生かし、それぞれの言葉で社会に発信していく存在になってほしいと願っています。

これから始まる世界大会では、3名をはじめ、日本代表として世界の舞台に挑戦する皆さんに、それぞれの魅力を思い切り発揮していただきたいと思っています。世界の舞台では、国内大会とはまた違った経験や刺激があると思います。その経験を楽しみながら、自信を持って自分らしく挑戦してきてほしいです。

そして2027年大会では、今年の大会で得た経験を生かしながら、さらに多くの方にこの大会を知っていただき、参加することで自分自身の新しい可能性を見つけられるような大会にしていきたいと考えています。コンテストという一日だけの結果ではなく、ファイナリストとして過ごした時間そのものが、その後の人生にとって価値のある経験になる大会を、これからも目指していきたいと思います。2027年も、またたくさんの方との出会いを楽しみにしています。

■ミセスユニバースジャパン2027（来年度）も開催決定

ミセスユニバースジャパンは20歳以上の女性であれば、未婚・既婚などを問わず挑戦していただけます。お仕事や家庭とも両立できるように運営のサポート体制も整っています。みなさまにお会いできる日を楽しみにしております。

▶ 事前応募ページ：<https://www.mrsuniverse.jp/>

ミセスユニバースジャパンはスポンサー企業様、地方大会パートナー企業様を募集しております。

▶ お問い合わせ先：info@bellissimajapan.co.jp

■会社概要

会社名：ベリッシマジャパン株式会社

代表取締役：大島一恵

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストークメイジュ403

HP：<https://bellissimajapan.co.jp/>

公式Instagram：https://www.instagram.com/bellissima_beautypageant/

大島一恵Instagram：https://www.instagram.com/kazue_bellissimajp/

※日本代表TOP3・ファイナリスト、大会主催者への個別取材や、当日の写真・映像素材の提供が可能です。
ご希望の報道関係者の方は、PR事務局までお問い合わせください。

本件に関する報道関係者のお問い合わせ先
ミセスユニバースジャパン2026 PR事務局（株式会社CONNECTED MATERIAL内）
担当：杉山（080-3004-0454）/ sugiyama@connectedmaterial.jp